

令和5年度 学校報告会資料



日頃より、本校の教育活動へご協力いただき、ありがとうございます。
今年度も書面での開催とさせていただきます。1年間の取組をまとめましたので、
どうぞご覧ください。
次年度も、本校の教育活動へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

目次

- | | |
|----------------------------------|--------|
| 1 中期学校経営方針具体的取組の振り返り | |
| 「知」学習指導・情報教育」「徳」特別活動 | … 1 |
| 「体」健康教育・食育」「公開」地域連携 | … 2 |
| 「児童指導・いじめへの対応」「特別支援教育・人権教育・道徳教育」 | … 3 |
| 「人材育成・組織運営」 | … 4 |
| 2 学年経営方針の振り返り | … 5～8 |
| 3 学校づくりアンケート結果報告 学校評価報告書 | … 9～14 |
| 4 来年度の教育活動・行事予定等について | …15～16 |

知 学習指導・情報教育

【重点研究】

国語や算数の授業で協働的な学びを実践することによって、子どもたちのコミュニケーション能力を高めてきました。コミュニケーション能力とは、自分の考えを伝える力と他者の考えを受け入れる力の両方を含みます。

具体的には、以下の三つのポイントに注目して授業を展開しました。

- ・子どもたちが自分の考えを積極的に発表する機会を増やすこと。
- ・子どもたちが他者の意見に耳を傾ける態度を育てること。
- ・子どもたちが互いに尊重し合い、協力し合う関係性を築くこと。

このような授業の実践によって、子どもたちは自分の考えを伝え合う力だけでなく、他者の考えに対する理解や共感も深まりました。また、協働的な学びの中で、国語や算数の知識や技能も向上しました。

【情報教育】

低学年では、カメラなどのiPadを使った簡単な操作などを通して、楽しみながら情報教育に触れる機会を設けました。中学年では、ロイロノートを中心に情報の収集や伝え方などを学びました。ネットマナーやネットリテラシーについても学びました。高学年では、ロイロノートを使って学習や調査、レポートなどを作成する方法を学びました。iPadは、さまざまなアプリや機能がありますが、それらを効果的に活用することで、より良い成果物が作れました。さらに、情報のセキュリティやプライバシーについても学びました。インターネットは、自分の個人情報やデータが流出する危険性もあります。そこで、パスワードの設定や管理、不審なメールやサイトの対処法などを学びました。



徳 特別活動



昨年度から取組を開始した全校たてわり活動では、異学年交流の幅を広げ、一人の活動では感じられない楽しさを実感することができました。たてわり遊びや全校遠足では、これまでの活動経験を生かして、遊びの計画を立て、実践することができるようになってきており、活動の充実化につながっています。上学年の姿や行動から学んだことをいかそうとする下学年の姿も見られるようになってきました。

全校遠足では学年ごとに仕事を決め、責任をもって自分の仕事に取り組みました。6年生は、リーダーとして下級生をまとめる姿が見られました。下級生は上級生の姿を見て、助け合うことで活動を成功させ、協力することの大切さを知ることができました。

また、今年度は茅ヶリンピックにおいても、たてわりを意識した活動を多く取り入れました。応援席をたてわりグループにすることで、ペアの頑張る姿を応援したり、お互いの体調を気づかたりするなど、他者を思いやる姿が多く見られました。

さらに、学習内容を他学年に発表したり、校外学習で学んだことを一つ下の学年に伝えたりする活動や、学年をまたいだ集会活動など、日常の学校生活や学習の中でも異学年交流をすることが盛んに行われました。学校全体での仲間意識を育み、相手意識をもって活動をすることができました。

来年度も、たてわり活動をいかした活動の機会をさらに広げ、他者の思いを大切に、協力することのよさや楽しさを実感し、学校全体での仲間意識をはぐくんでいきます。そして、自分から心を開いて様々な立場や考え方を受け入れていこうとする意識や態度、他を思いやる優しい心を伸ばしていきます。

体 健康教育・食育

・保健の授業では、4年生の「体の発育・発達」、5年生の「心の健康」で養護教諭と連携した授業を行い、子どもたちが、自分の心と体の成長を前向きに捉えていくことができるようになりました。その他の学年でも、宿泊前の指導などを発達段階に応じて行うなど、自分事として捉えて学習できるようにしました。

・体育では、去年に引き続き年間カリキュラムを全学年、見通して設定することで、6年間を通して様々な運動に触れることができるようになりました。また、体育館と校庭の使用割り当てを明確に分けることで、重点的に1つの単元に取り組んでいけるようになりました。

・ICTを活用した体育実践に取り組みました。自分の動きをiPadで撮影し、その動画をデジタル体育の見本動画と比べることで、よりよい動きにつながるようになりました。デジタル体育は、様々な動画が用意されているので、児童の主体的な学びに役立ちました。

・食育では、ちがはたくんでの栽培・収穫体験を通して、食の大切さへの理解を深めました。食育タイムでの食育学習では、令和元年より継続してきたことにより、高学年児童の食の知識の理解がさらに深まりました。

・学校保健委員会では、「ちがだい体力アップ大作戦!パート2」をテーマに、みんなで楽しく体を動かすために、運動が得意な人も、苦手な人も楽しく体を動かすルールの遊びを考え、4~6年生で実践しました。その遊びを1~3年生を含む全校に紹介し、活動を全校に広げることで、外で遊ぶ楽しさに気づくことができました。

公開 地域連携

・今年度も地域コーディネーターの方々と連携しながら、「茅ヶ台人材ボランティア」を活用しました。総合の時間や生活科の学習などで、地域の方と広く関わりをもつことができました。また、創立30周年行事では、式典に地域の方に参加していただいたり、午後の部では、地域の方々の力をお借りして、たくさんのブースを開くことができたりし、交流を深めることができました。

・新1年生ボランティアの方には年度当初だけでなく、必要に応じて様々な場面でご協力いただき、幼保小のスムーズな移行を図りました。児童も安心して学校生活を送ることができました。今後とも、児童に合わせてボランティアの方と協力していきたいと思えます。



・図書ボランティアでは、読み聞かせと図書館の環境整備の2つのチームで活動しています。年度末には、読み聞かせスペシャルをしていただきました。楽しい読み聞かせや整った図書館。教室の本のおかげで児童は様々な本と出会い、本に親しむことができました。これからも連携して充実した読書活動を目指していきたいと思えます。

児童指導・いじめへの対応

- ・茅ヶ崎台小学校の「学校生活スタンダード」を全教職員で共有し、ずれのない指導・支援を心掛けました。今年度末に学校生活スタンダードの見直しを行い実態にそぐわないものがあつた場合は、早急に検討し、児童が安心して生活できる学校づくりを目指します。
- ・「横浜プログラム」を活用した指導を定期的に全学年で実施しました。今年度も、アセスメントを2回行い、学級や児童の変化を見取りました。夏休みには講師をお呼びしての研修も行い、各クラスの実態に応じたプログラムの活用を意識しました。SOS の出し方プログラムも積極的に取り組みます。
- ・児童支援専任を中心として、毎月行っている「学校生活アンケート」や5月、12月に行っている「いじめ解決のための生活アンケート」などを通して、一人ひとりの思いを受け止めていけるよう、丁寧に取り組んでいきます。いじめ防止対策委員会において、専任を中心に、いじめの早期発見、再発防止、未然防止に努めました。児童支援会議において、いじめ研修を行い、いじめに対する教職員の意識を高めました。

特別支援教育・人権教育・道徳教育

- ・講師をお呼びしての特別支援教育研修を行い、児童理解を深めました。児童への接し方や声のかけ方はもちろんのこと、教室環境やユニバーサルデザインを意識した授業などのアドバイスもいただきました。その後各学年で振り返りを行い、クラスの環境を整えたり、板書を工夫したりして、誰もがより過ごしやすい学校を目指しました。
- ・心を落ち着かせたり、集中して学習したりするために心の教室やベニバナルームを活用しました。教室環境も整え、児童が安心して通える学校を目指しました。



- ・人権について意識しながら道徳の授業に取り組んだり、年間を通して横浜プログラムなどを活用したりして児童の人権意識やコミュニケーション力を高めるように心掛けました。
- ・人権週間に向けて学年に応じたプログラムを活用しました。活動を通して、児童が自分や友達のよさに気付いたり受け入れたりする力を育むように、振り返りカードを活用して互いの意見を交流することに努めました。また、人権集会では、互いのよさを認め合えるような話題を取り上げ、子どもたちが日頃の自分たちのことを振り返るきっかけとしました。今後とも、児童の相互理解が進むように全校で取り組んでいきます。

人材育成・組織運営

- ・「自ら問いをもち、その解決に向けて、生き生きとやり取りをしながら学び合う教師の育成」をテーマに、教師が自主的に学びたいこと・研究したいこと・相談したいこと・伝えたいことを考えて就業時間内に取り組みました。組織化することで次年度以降も見通しをもって取り組めるようになりました。
- ・プロジェクトタイムでは、推進リーダーを中心に、各回テーマを決めて希望者を募りました。学年や教科にとらわれない枠組みで研修を行い、教師力の向上を目指しました。(例:働き方シンポジウム・教科担当座談会・傾聴訓練)
- ・今年度は教育実習生を受け入れ、学校長の指導のもと、指導担当者中心に全職員が直接・間接的に実習指導を協力して行いました。経験年数が少ない若手を中心に、授業を公開しました。
- ・全体研修では、自分や周囲の人たちの強みに着目した授業づくりの研修を行いました。
- ・校内だけでなく、都筑区や他区の学校に対しても積極的に研修を行い、情報を発信して本校の取り組みを共有しました。



- ・経験年数が少ない若手を中心に、月に一度集まり、研修を行いました。授業を公開し、授業づくりについて考えたり、自己の目標達成に向けての方法について話し合ったりしました。そこで学んだことを実践し、スキルアップを目指しました。

学年経営方針の振り返り

あおぞら **学級目標 やってみよう！**

学習面、生活面ともに学級目標を意識しながら学校生活を送りました。

○失敗しても大丈夫！もう一度チャレンジ

学年目標のやってみよう！をテーマに様々なことにチャレンジしてきました。勉強も運動も苦手なことでも一回やってみよう。失敗してももう一回やればいい！と、前向きに活動してきました。その過程で友達が失敗して落ち込んでいる時に励ましたり、応援したり、慰めたり、仲間を思って行動することができるようになってきました。



○個別級ならではの良さ！毎日たてわり学年の関わりをいかして

教室の中には、1～6年生までの学年があり、学習や遊びで常に関わり合って生活しています。「個別級学習発表会」では、ダンスや大縄、音楽の発表に向けて、高学年はリーダーシップを取り、低学年はその高学年を慕い本番に向けて頑張る姿が多く見られました。

第1学年

学年目標

はじめの いっぽ 

○一生懸命に活動に取り組む1年生

- ・運動会、全校遠足や学年の遠足、サツマイモの収穫など、初めての行事や体験活動に対して、一人一人が前向きに力いっぱい楽しく取り組みました。

○いろいろなことにチャレンジする1年生

- ・幼稚園や保育園の子どもたちとの交流では、自分たちで交流会の活動内容を話し合って決めたり、準備をしたりしました。「年長さんこんなことをしてあげたい、教えてあげたい」という思いやめあてをもって、進んで活動に取り組む姿が見られました。
- ・地域の昔遊び名人の方々から技や遊び方のコツを教わってもらいながら、昔遊びに挑戦しました。繰り返し練習に取り組み、上達した技を年長さんに伝えることができました。



○自分と友達を大切にする1年生

- ・YP「よこはまプログラム」や人権週間の取組「おたがいのことをみとめあおう」、学級活動や生活科、道徳などを通して、自分と友達の頑張りやよさ・違いを見つけ、それを互いに認め合う姿が見られました。

第2学年

学年目標



かがやけ☆にじいろ 2年生

○かっこいい2年生（しっかり話を聞き、自分の考えをもって表現する）

学習面や生活面、どんな場面でも友達や先生の話を考えて聞くこと繰り返し指導してきました。学級だけでなく学年全体の集まりでも話を聞く姿勢が身に付いてきました。自分の意見を伝えることが苦手な児童でもペアトークやグループトーク等、学習形態を変えることで表現でき、楽しんで活動する姿が見られました。

○チャレンジする2年生

遠足や児童会活動など、さまざまな行事や体験活動に楽しんで取り組みました。めあてを意識し、班長として、実行委員として自分の役割を理解し、最後までしっかりと活動を行いました。30周年記念行事では、生活科のまち探検で学習したことをまとめ、自分たちで問題を作り、出題することができました。

○思いやりのある2年生

道徳や人権週間などの取組を通して、相手の気持ちを想像することや自分と友達の違いを知り、それを認め合う姿が見られました。

第3学年

学年目標



「みつば」
三まいの葉を合わせて

○話をよく聞いてよく考える3年生

・「理科」「社会科」など新しい教科学習が始まり、様々なことに興味・関心をもって学習に取り組みました。学習・生活のあらゆる場面で話をよく聞き、自分の考えをもって活動できることを目標にしてきました。学年全体の活動や、各実行委員での活動ではそれぞれが自分たちの思いをもち、様々なアイデアを出し合いながら有意義なものにすることができました。

○相手の気持ちを考えられる3年生

・人権週間の取組では、物事の見方を変えて感じ方を変える「リフレーミング」の学習をしました。自身や他者の短所に目が向いてしまうことも、いろいろな視点から捉えなおすことで長所として感じられることを学びました。前向きな言葉かけによって友達どうしの関りにも温かみが増したように感じられました。

○けじめをつけ、考えて行動できる3年生

・時間を守ること、場に応じた行動ができることを目標に活動を進めてきました。校外学習では公共の場や交通機関の利用マナーに気を付けて行動することができました。自分たちの行動が周囲のためにも、自分たちのためにもなることを学びました。

第4学年

高学年へのとびら

～4つのかぎ～



○1つ目のかぎ 「手本」

たてわり活動では、高学年として遊びの計画を立てるだけでなく、ペアの3年生をサポートする姿が見られました。全校遠足では4年生に割り振られた仕事をこなし、低学年の手本となるよう活動しました。

○2つ目のかぎ 「チャレンジ」

区音楽会や30周年記念行事に向けて、リコーダー奏や合唱に取り組みました。得意なことも苦手なことも、最後まで諦めずに取り組む力が身に付きました。本番では、心を一つにして発表をし、一人ひとりが達成感を感じることができました。

○3つ目のかぎ 「協力」

茅ヶ崎ピックでは、「エイサー」を成功させようと、みんなで教え合い、励まし合いながら練習に取り組みました。10才を祝う会では、実行委員を中心にして自分たちの力で会を作り上げることができました。成長した姿や感謝の思いが伝わるような会にしようと、一致団結して取り組みました。

○4つ目のかぎ 「思いやり」

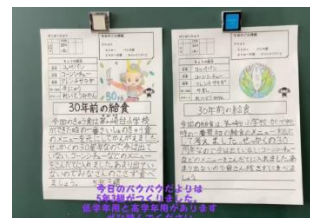
愛川体験学習やバレエの鑑賞会などの校外学習では、交通マナーや公共マナーなどをしっかり守り通すことをめあてて行動しました。その行動の一つひとつが、周りの友達や人々を思いやる姿勢につながることを学びました。礼儀正しく、感謝の気持ちを伝える姿もたくさん見られました。

第5学年



「Shine」

～ひかり輝く5年生～



学校を照らす「ひかり」になれるよう頑張りました!!

○めあてをもって取り組み、達成感を味わえる5年生。

30周年記念行事に向けて、それぞれのクラスで取り組み、全クラスが動画を作成して放送しました。当日は茅ヶ崎台小学校最初の給食を再現して、全校児童で味わいました。

よりよい姿をイメージし、自分にできることを積み重ねて学習に取り組んできました。繰り返し取り組むことにより成長を実感している児童が多いと思います。

○自他の良さや力に気づき、認め合える5年生。

ICT機器を活用して交流を進めました。図工の学習では、作品が完成した後に、鑑賞の一環として必ず友達と「いいねカード」を送りあっています。友達の作品のよさを認め、メッセージを伝え合うことでよりよい人間関係を築くことに寄与しています。他の教科でも短時間にお互いの考えを共有できるICT機器の良さを生かして活動しました。

○高学年の自覚をもち、下級生の手本となる5年生

たてわり活動では、自分たちにできることを考え、下級生の支援をしている児童が多くみられました。2年生を中心に声かけをして、よりよく関わっていました。6年生の卒業を祝うサプライズ壁画を作成するなど、在校生代表としての自覚をもって活動しました。

第6学年



北斗七星

～自ら輝こう～

六つの星（目標）を達成しながら、七つ目の星（中学校）に向かえるように、一人ひとり自ら輝き頑張りました！！

○挑戦

一人一役実行委員を受け持ち、初めての実行委員や仕事に挑戦しました。責任をもって最後まで活動することができています。また、委員会やクラブ、縦割り活動や学級の代表に挑戦し、多くの経験を積むことができました。

○手本

最上級生としての自覚をもち、1年生をはじめとする下級生のよい手本となるように、自分の生活の様子を振り返りながら、他学年と関りました。1年生と仲も深まり、縦割り活動を中心に、優しく声をかけたり、遊んだりするなど、たくさんの交流が見られました。また縦割りグループの中心となって活動し、上手にまとめていました。

○楽しい

学級や学年が安心して、楽しく過ごすことができる場所になるように、係活動や学年レクを通して、それぞれのつながりを高めることができました。

○目的

日常生活、学習、行事、学級・学年の活動など、全てにおいて「何のために」「だれのために」といった目的を考えて活動してきました。目的意識をもって行動することができるようになりました。

○協力

運動会のソーラン節では、暑い中での練習でしたが、声を出し、励まし合いながら協力し、当日は迫力のある踊りを披露しました。また、日光修学旅行では、寒さと大雨、渋滞、混雑と大変な状況でしたが、班で協力し時間通りに活動できました。

○メリハリ

楽しむ時間と、落ち着いて真剣に取り組む時間の使い分けを意識して、活動してきました。まだまだ、取り組み中ではありますが、時計を見てメリハリをつけながら生活する児童が増えました。

○そして中学校へ

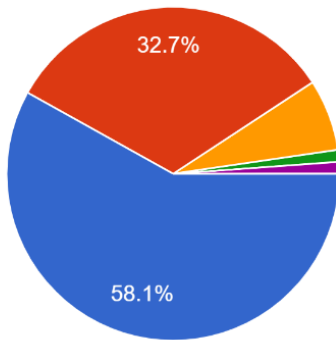
茅ヶ崎台小で学んだことを忘れずに、新しい環境でも目的意識をもって、様々な事に挑戦しながら楽しんで生活しよう。

令和5年度 学校づくりアンケート結果報告(回答率 47%)

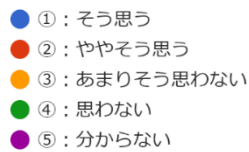
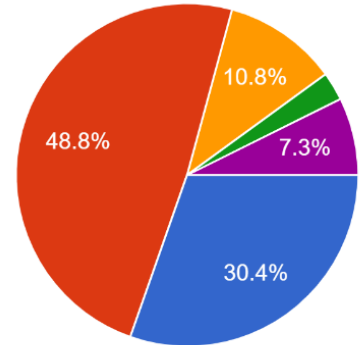
お忙しい中、「学校づくりアンケート」へのご協力ありがとうございました。アンケートの結果を今後の教育活動に生かし、「かしこく やさしい 元気な子 ひかり輝く茅ヶ崎台小」を目指していきます。今後とも、教育活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

〈アンケート結果と考察〉

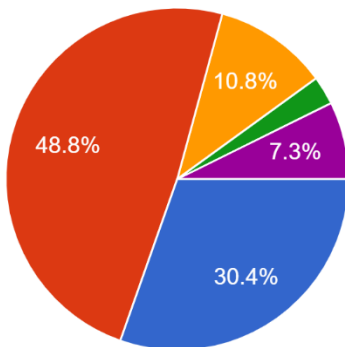
① お子さんは、楽しんで学校生活を送っている。



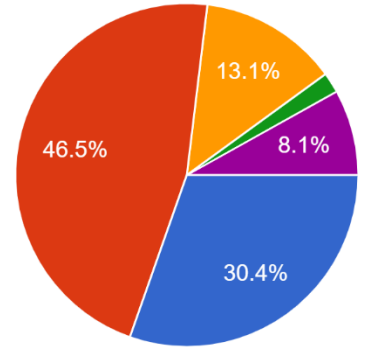
② 学校は誰もが安心して、楽しく学習に取り組める環境を整えている。



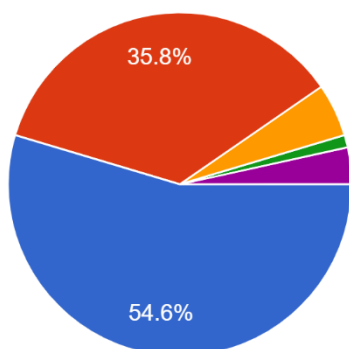
③ 学校は誰もが安心して、楽しく学習に取り組める環境を整えている。



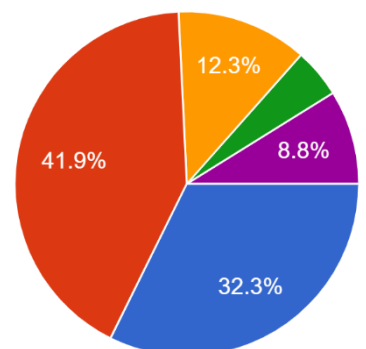
④ 学校は、お子さんが自分の考えをもち、思いを表現する学習を取り入れている。



⑤ 学校は情報モラル教育を行うなど、GIGA 端末の適切な使い方や学習への活用について学年に応じて指導している。

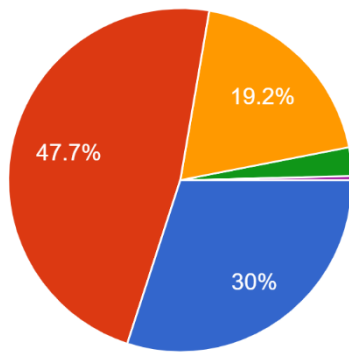


⑥ 学校は、校外での体験的な学習(ちがはたくんや社会科見学等)を有効に活用し、学習の幅を広げている。



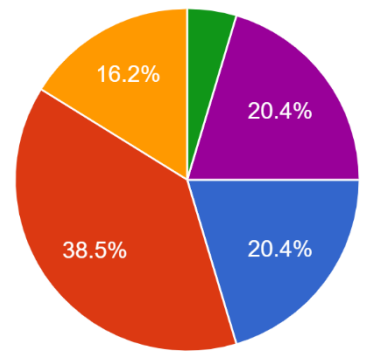
①の設問では、90%以上の児童(そう思う、ややそう思う)が、楽しんで学校生活を送っているという結果になりました。②~⑦までの学習に関する設問に対しては、肯定的評価が70~90%と幅が出ました。⑤の情報モラル教育に関しては90%以上となりました。ロイロを中心に学習に生かした取組が行われていることや宿題や読書での活用など保護者から見て大幅な活用が見られる結果になったのだと思います。70%台にとどまった項目に関しては、さらなる向上を目指すために児童の実態把握や保護者の思いを受け止めながら指導の方向性や対応を教職員自身が常に学び続け、指導力向上に努めていきます。

⑦ お子さんは、学校や家庭で学習する習慣や学習のきまりが身についている。

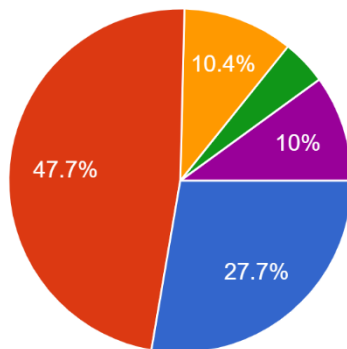


⑧ 学校は、生活アンケートを活用し、子ども一人ひとりに寄り添った対応を心がけている。

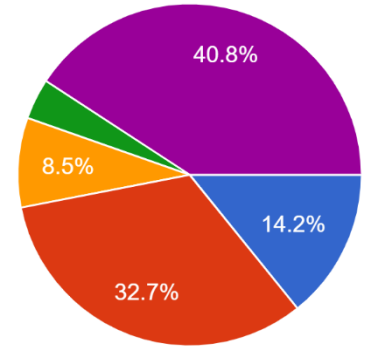
- ①: そう思う
- ②: ややそう思う
- ③: あまりそう思わない
- ④: 思わない
- ⑤: 分からない



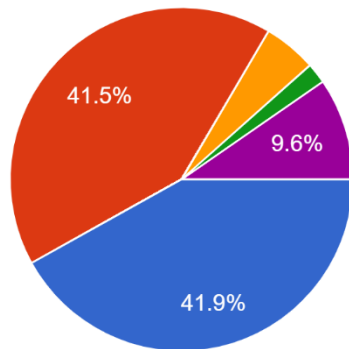
⑨ 学校は、誰もが安心して過ごせる学級の雰囲気づくりに努めている。



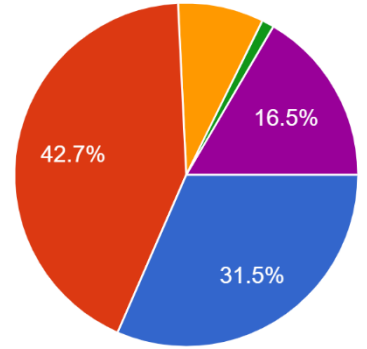
⑩ 学校は、いじめを見逃さず、いじめに対して毅然とした態度で臨んでいる。



⑪ 学校は、なかよし学年交流を通して、互いによりよく関わろうとするお子さんの思いを育てている。

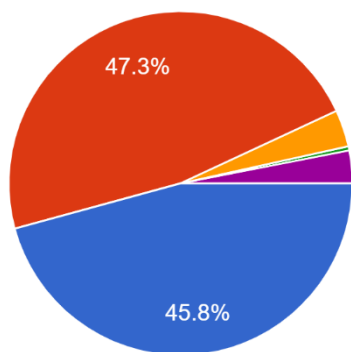


⑫ 学校は、人権週間や道徳等を活用しながら、お子さんによいことや悪いことについての規範意識を育てている。



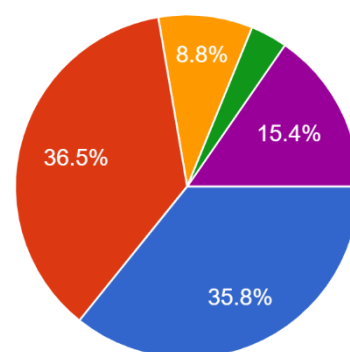
⑧⑩の設問に関しては、分からないという返答が他の項目より大きい割合を示しています。⑧の生活アンケートは月1回実施している取組であるものの、どのように子ども一人ひとりに寄り添っているのかは分からない、⑩も同様で、ご家庭では見えにくく判断に困る部分かと思えます。見えない部分の情報発信の仕方を今後も考え、より多くの保護者の方にその取組が伝わるように努力していきます。また、「あまりそう思わない・思わない」という意見もあるため、学校生活全体を通して管理職や児童支援専任のもと全職員が研修を重ね、児童や保護者にとってよき相談相手として信頼関係を築けるように日々取り組んでいきたいと思えます。

⑬ご家庭は、お子さんの相談事や悩みなどについて、耳を傾けている。



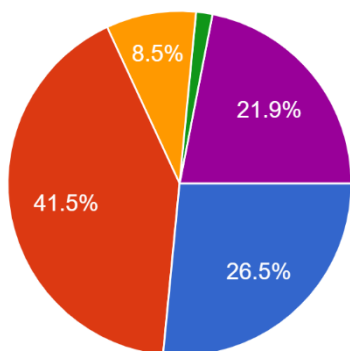
⑭学校は、お子さんが挨拶を進んでしようとする取組を行っている。

- ①: そう思う
- ②: ややそう思う
- ③: あまりそう思わない
- ④: 思わない
- ⑤: 分からない

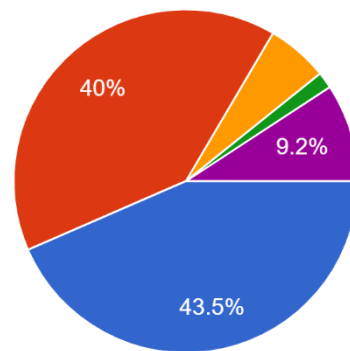


⑭に対する学校の取組としては、学級で日々指導を行っているだけでなく、計画委員会が中心となって「あいさつ運動」を行っています。自分から進んで気持ちのよい挨拶ができるように声をかけ取り組んでいます。年々挨拶ができない児童が多くなってきているように感じます。全ての子どもたちがコミュニケーションの基本でもある挨拶をきちんと行えるように学校生活の中で、引き続き指導していきます。ご家庭でも礼儀やマナー、挨拶などの意味を一緒に考え、気持ちのよい生活が送れるようご協力をお願いいたします。

⑮学校は、学校保健委員会を中心に、感染症に負けない健康づくりをテーマに、児童が心身の健康の大切さに気づき、実践しようとするような取組をしている。

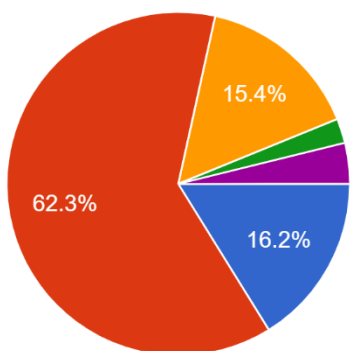


⑯学校は、保健学習や食育タイム、体力づくり等、のびのびと元気に過ごせるような取組をしている。

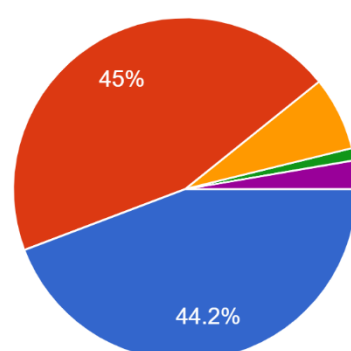


⑮⑯では、委員会が中心となって取り組んでいる活動も多いです。学校保健委員会や運動委員会、給食委員会が各々学校の課題を捉え、解決するための取組を提案し、クラス毎に考えたり活動したりしてきました。食育タイムでは、子どもに分かりやすい動画が作成され、食への知識が少しずつ積み重なってきたと感じています。今回の回答結果をみると、学校での取組がご家庭でも少しずつ伝わってきているのだと感じています。今後も日々の積み重ねを大事にしながら指導していきます。

⑰お子さんには、礼儀やマナー、正しい生活習慣が身に付いている。

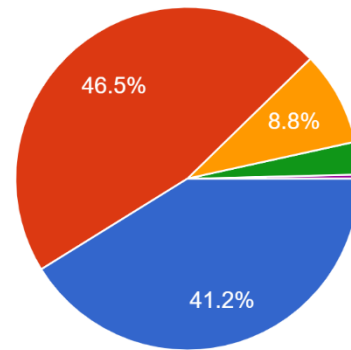


⑱学校は、各種だよりやマチコミ、懇談会を通して、教育方針や具体的な取組を伝えている。



⑭学校では授業や行事などの教育活動が可能な範囲で公開され、お子さんの活動や学校生活が分かるようにしている。

- ①：そう思う
- ②：ややそう思う
- ③：あまりそう思わない
- ④：思わない
- ⑤：分からない



⑭⑮の回答を見ると、大多数の保護者様が学校からの情報伝達に対して肯定的な意見を持っていることが分かります。具体的には、学校だよりや学年だより、マチコミのタイムラインなどを通じて、教育活動やお知らせなどを適切に伝えていると感じています。今後も、学校での取組を具体的に発信していくことに努めていきます。

今回のアンケート回答率は47%です。これは昨年度と同様です。まずは、アンケート回答率が50%を上回るようアンケートの項目を考えていく必要があるのかもしれませんが。保護者の皆様の意見を教育活動に活かしていくためにもご協力をお願いいたします。

学校教育目標

「かしこく やさしい 元気な子 ひかり輝く 茅ヶ崎台」

- 基礎基本を身に付け、自ら問題を発見し、意欲的に学び続ける力を育てます。（知）
- 善いこと、悪いことをきちんと判断し、自分や相手を大切にできる態度を育てます。（徳）
- 規則正しい生活習慣を身に付け、心身ともにたくましく生きる力を育てます。（体）
- 自分らしい夢や目標をもち、自ら考え行動する態度を育てます。（公）
- 自他の違いを受け止めながら、人とのコミュニケーションを通して、ともに生きていく力を育てます。（開）

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	茅ヶ崎中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的な取組
<言語能力> <心身ともにたくましく生きる力> <問題発見・解決能力>	茅ヶ崎中学校 茅ヶ崎小学校 茅ヶ崎東小学校	○主体的に学習し、伝え合いながら学びを深める子ども（コミュニケーション力） ○協働的に解決策を見出し、実行する子ども（問題発見・解決能力） ○地域と自らかかわり、支えあう子ども（社会生活との関わり） <実施した取組> ・小中一貫推進協議会・授業参観（4・5・6・12・2月） ・中学生と小学生の交流（10月、2月）

中期取組目標振り返り

- かしこく やさしい 元気な子 の育成を目指して、豊かにかかわり、心をつなぐ学校にします。
 - ・共同で教材・授業研究に取り組み、主体的に問題を解決し、互いに学び合おうとする子どもを目指し、授業づくりを進めました。研究を通して、児童が自ら課題を立てたり、解決のために話し合いながら活動を進めたりする力が育ってきました。
 - ・生活科や総合的な学習の時間の材の開発、ちがはたくんの活動、周年行事を通して、地域や関係機関との連携をさらに広げ、学びを深めました。
 - ・たてわり活動を通して、異学年交流が深まりました。たてわり遊びや全校遠足で、コミュニケーション力を育て、児童の思いやりや協力し合う姿が見られました。
 - ・学校生活アンケートを生かし、様々な児童の思いを理解し対応するよう努めました。いじめの早期発見、解決に向け、連携して取り組みました。

重点取組分野	自己評価結果
知 学習指導	①-1 茅ヶ台学習ルールを基本として指導をしているため、落ち着いた学習環境ができています。学校生活アンケートの際に、茅ヶ台学習ルールが守れているか児童自身がふりかえる場があるのが有効的でした。 ①-2 iPad の使い方に関しては、基本となる「学習のために使うこと」「人を傷つける使い方はしない」に対して意識に差があり、そのために、使い方が曖昧になっている部分がありました。 ②「協働的な学びを通して互いの考えを伝え合う力を育む」を研究テーマとし、国語科・算数科の教科で1年間、3つの項目（手立て）を中心に取り組みました。1年目ということもあり、テーマに迫る力を育むまでには、至っておらず今後の取組を継続していく事が大切です。
徳 特別活動	①各学年に役割があるなど、異学年交流が充実したものになっていました。また、たてわり遊びの時間が確保され、活動回数が多いこともよかったです。 ②たてわり活動の効果もあり、下学年を思いやり上学年にあこがれをもったりする姿が見られました。
体 健康教育	①4年生と5年生の保健では、養護教諭と担任が授業に関わりました。振り返りワークシートから、自分事として捉えることができている様子が見られました。 ②保健日より必要書類の提出を通じて、家庭と必要な情報をやりとりすることができました。 ③食育タイムは、職員や児童には浸透し、家庭科の授業ではすぐに栄養素の話がでてくるなどの成果がでていました。 ④ちがはたくんでの活動では、1・2年生・あおぞら級はさつまいも、3年生は大根の苗植えや収穫体験を行いました。
公開 地域学校協働活動	①学習ボランティア：1年生、4年生に入ってもらいました。1年生の4、5月は、環境の変化に対する配慮があり、児童の安心感へつながっていました。4年生では、児童の学習態度の落ち着きにつながっています。 ②図書ボランティア：児童の本への興味関心が高まっていました。朝ではない他の時

	間に移動できないかという意見が出ました。 ③茅ヶ崎台人材バンク：総合や修学旅行などで関わりがありました。必要な時に必要な方に塚がることができました。
いじめへの対応	①毎月の生活アンケートの活用や児童からの丁寧な聞き取りを行なったことで、いじめの早期発見、丁寧な解決につながりました。 ②いじめ防止研修を行い、教職員の意識を高めたことで、早期にいじめ防止対策委員会を開くことができるようになり、いじめの早期発見、再発防止、未然防止につながりました。
人材育成・組織運営(働き方)	①メンター研では、若い職員が多かったため、気軽に困りごとや聞きたいことを話し合うことができました。職員の現状やニーズに合わせた活動ができました。②午前5時間授業の実施により、放課後の時間を確保することができるようになりました。働き方改革を推進する事で、学び合いや相談の場と時間を保証することができました。 ③高めたいスキルを自ら選択して参加するシステムを構築することができました。参加者を増やすための手立てを考えることが今後の課題です。
情報教育	①ICT を効果的に活用した学習方法をワークショップ形式で共有しました。一人一人がもっているノウハウや考え方を共有できる研修を設定しました。②教職員で情報共有を図り、使用頻度が増やすためにロイロノートだけでなく、デジタルドリルやYomokka!!、Canva、タイピングなど活用できるアプリを全校に広めました。③持ち帰りについてメリットとデメリットをまとめ効果的な活用について考えました。
児童指導	①学校生活スタンダードのずれを確認し、全体共有を行いました。曖昧になったルールもあり、年度始めでの徹底の必要性を感じました。 ②YP 研修を行ったことで、YP の活用の仕方を共有することができました。年2回以上のアセスメント、プログラムも行い、学級経営に生かすことができました。
特別支援教育	①ユニバーサルデザインを意識した授業作りや教室環境の見直しを行いました。成果が出るまでには至らなかったです。 ②特別支援教室の環境や設備を整えたことで、子どもたちが安心して活用できる場となりました。理由によって使用教室を分けたり、職員体制を手厚くできるとより効果的な使い方ができるとかんがえています。
道徳教育 人権教育	①人権について意識しながら道徳の授業に取り組みました。また人権週間に向け、学年に応じたプログラムを選んで活動し、計画的に行いました。 ②道徳推進教師を中心に、資料の共有などを通して道徳教育の充実を図りました。 ③職員の道徳意識、人権意識を高めるためにも研修に取り組みました。

4 【来年度の教育活動について】

来年度の日程のほか、新たな取組や変更点、さらに充実させたいことなどをまとめました。

① 行事の日程について

今年度は、運動会を春、宿泊行事を夏休み後に行っていましたが、入学早々に運動会となる1年生の負担や、宿泊体験学習のもつ学年づくりの効果などを考え、時期を入れ替えることにしました。

<宿泊行事>

- ・6年生 日光修学旅行（1泊） 6月27日（木）～28日（金）
- ・5年生 西湖宿泊体験学習（1泊） 7月12日（金）～13日（土）

※4年生以下で宿泊行事は行いません。4年生の体験学習は日帰りで実施します。

<茅ヶケリンピック> 10月26日（土） 午前中開催

※本校では、運動会は半日開催を基本としています。



<全校遠足> 5月24日（金） 予備日5月31日（金）

※この日は給食ではなく、お弁当持参となります。

【参考】前期始業式・入学式	4月 8日（月）		
夏季休業	7月20日（土）～8月26日（月）		
前期終業式	10月11日（金）	後期始業式	10月15日（火）
冬季休業	12月26日（木）～令和7年1月6日（月）		
卒業証書授与式	3月19日（水）	修了式	3月25日（火）

② 日課表について

今年度より、40分授業で午前中に5時間目まで行い、主に高学年の下校時刻を早めるようにしました。

児童が放課後に余裕をもって過ごす様子が見られた、教員の教材研究の時間が増えたなどの効果があった反面、中休みが短いため外で遊ぶ児童が減ったということが課題となりました。また、低学年では、帰りの会が短く、余裕をもって下校できないという意見も出ました。

そこで来年度は、右表のように、中休みと40分授業時の帰りの会をそれぞれ5分伸ばします。通常の下校時刻が、今年度より5分～10分遅くなりますので、ご承知おきください。

(例) 午後に授業がある日の通常時程			
8:00～8:15	登校		
8:20～8:30	朝会・朝の会・読書タイム		
8:30～9:10	1時間目		
9:15～9:55	2時間目		
10:00～10:40	3時間目		
10:40～11:00	中休み※		
11:00～11:40	4時間目		
11:45～12:25	5時間目		
12:25～13:10	給食		
13:10～13:30	昼休み		
13:30～13:45	掃除		
午後40分授業（主に低学年）		午後60分授業（主に高学年）	
13:45～14:25	6時間目	13:45～14:45	6時間目
14:25～14:40	帰りの会※・下校	14:45～14:55	帰りの会・下校

※中休みと40分授業時の帰りの会を各5分延長

<下校時刻一覧>

	月	火	水	木	金
1年	13:40	14:40	14:40	14:40	13:40
2年	13:40	14:40	14:40	14:40	14:40
3年	14:40	14:40	14:40	14:55	14:40
4～6年 (クラブ)	14:55	14:55 (15:25)	14:40	14:55	14:55

*木曜のみ午後1.5コマ

*委員会は通常と同じ

※来年度も、水曜日は清掃時間をなくし、ロング昼休みとします。

③ 教室配置について

今年度、異学年交流の充実のため、1年と6年を同じ階（南棟2階）に配置しましたが、来年度は学級数と校舎の教室配置の組み合わせが難しく、同様にすることができません。詳しい配置は、始業式の日にお知らせしますので、ご承知おきください

異学年交流については、教室配置にこだわらず、また1年生と6年生に限らず、どの学年間でも児童の交流の場を様々工夫し、これからもさらなる充実を図ってまいります。

④ チーム指導体制、教科分担制について

本校では、教科によって学級担任以外の学年の教員が指導にあたる教科分担制を2年生以上で実施しています。また、高学年では学級を持たない教員を学年全体の副担任として位置付けています。

多くの教員が児童に関わることで、学級内だけでは難しい状況にも対応していくことができます。今後も、学年・チームとして指導にあたることができるよう、この体制を実情に即して継続し、一層の定着を図ります。



⑤ ボランティア・学習協力者について

本校は、2ページの「地域連携」の項にも掲げましたが、新1年生の学習ボランティアや図書ボランティアなど、地域や保護者の皆様に多くのご協力をいただいております。今年度の取組を踏まえ、来年度は以下の2点について、さらにご協力をお願いしたいと考えております。

○水泳見守りボランティア

今年度、水泳学習の際、保護者の方に見守りをお願いしました。教員だけでなく多数の目があることは、それだけで大変心強く、指導にも余裕が生まれます。子どもたちの安全と安心のため、来年度以降も継続して募集いたします。

○「ちがはたくん」のお手伝い

「ちがはたくん」での農業体験は、本校の大きな特色の一つです。サツマイモや大根の種蒔きや収穫時は、例年保護者の方にお手伝いを依頼しておりますが、近年やや手が足りていない状況です。できれば多くの方に、畑の土に触れる楽しさを味わっていただきたいと思っております。子どもたちと一緒に、ぜひご参加ください。



どちらも、時期になりましたら、ボランティアを募集します。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

⑥ 安全教育の取組について

子どもたちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう文部科学省が全国の学校で推進している「生命（いのち）の安全教育」を、本校でも、2月に各学年で授業を展開しました。生命を大切にする考えや自他の心と体を尊重する態度等を、発達段階に応じて身につけられるよう、学活や道徳、体育等の時間を使って、今後も教育課程で取り上げていきます。授業については、保護者の方にもお知らせいたします。